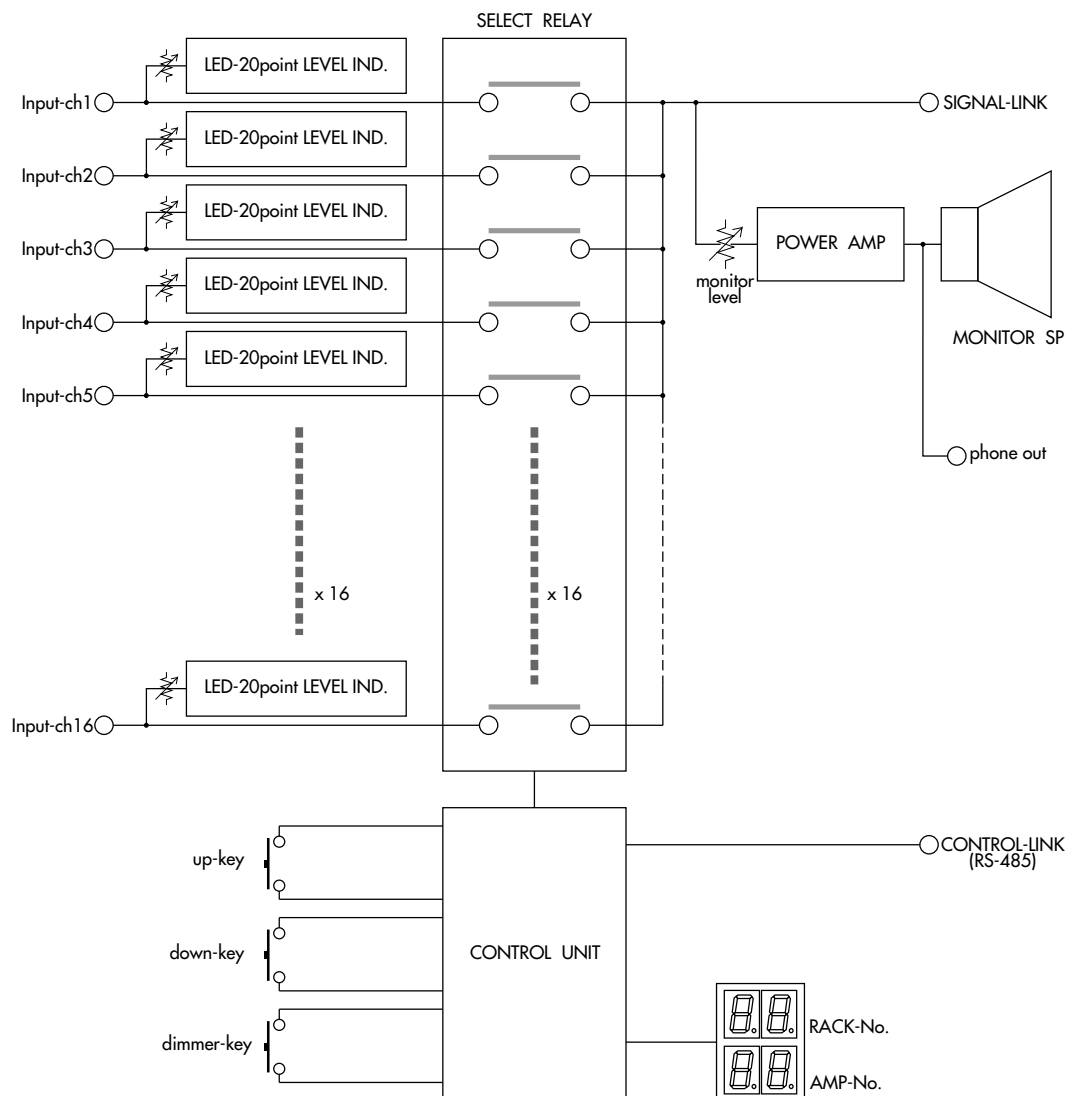


1 概説

本機は複数のパワーアンプのモニター端子やライン信号を入力し、レベルを監視するためのユニットです。E I A 2 Uのサイズで、16チャンネル分の入力があり、各入力に20ポイントのLEDレベルメータを装備しています。また、フロントパネルのキースイッチで選択した信号をスピーカで聴くことができます。尚、本機を複数台使用した場合2種類のリンク動作をさせることができます。

2 ブロックダイアグラム



3 仕様

音声モニターシステム (MS-1620)

3.1 入力部

入力形式	電子バランスタイプ
入力数	16 回路
定格入力レベル	-10 ~ +14dBm(御注文時指定)
最大入力レベル	+29dBm
入力インピーダンス	50k Ω 以上
入力コネクタ	Dsub-25Pin(メス) コネクター ×2

3.2 出力部

スピーカー	8cm コーン型フルレンジ ×1
最大出力	約 3W
モニター選択	up/down キーによる逐次選択, リレー式切換
ヘッドホン出力	8 Ω 以上 (6.3 ステレオプラグ/モノラル出力)
VUメーター	20point バーグラフ (-45 ~ +15dB, 3db ステップ) ディマー機能付
音声リンクコネクタ	Dsub-9Pin(オス) コネクター
推奨リンクケーブル	AWG# 24, ツイストペア, アルミラップシールド

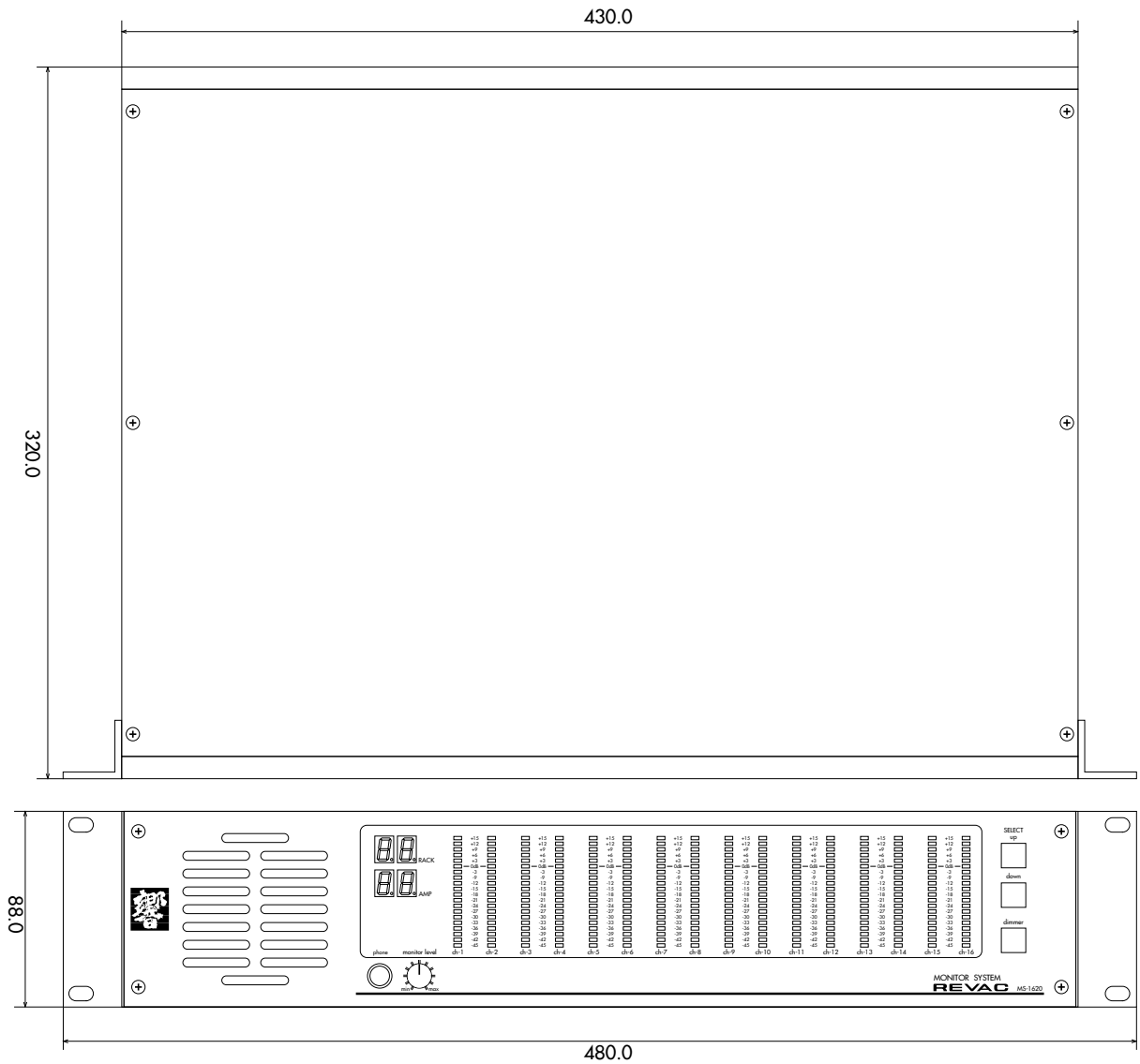
3.3 制御部

リンクモード	ステレオリンク (同時切換)/シリアルリンク (順次切換)
コントロール信号	RS-485 相当
最大リンク数	32 台
リンクプロトコル	専用独自プロトコル
通信速度	1200bps
制御リンクコネクタ	Dsub-9Pin(メス) コネクター
推奨リンクケーブル	AWG# 24, ツイストペア, アルミラップシールド

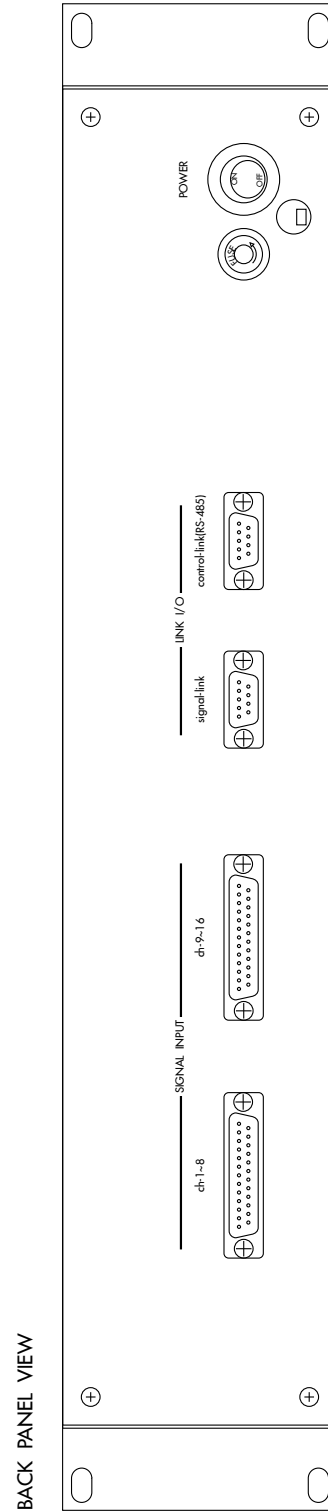
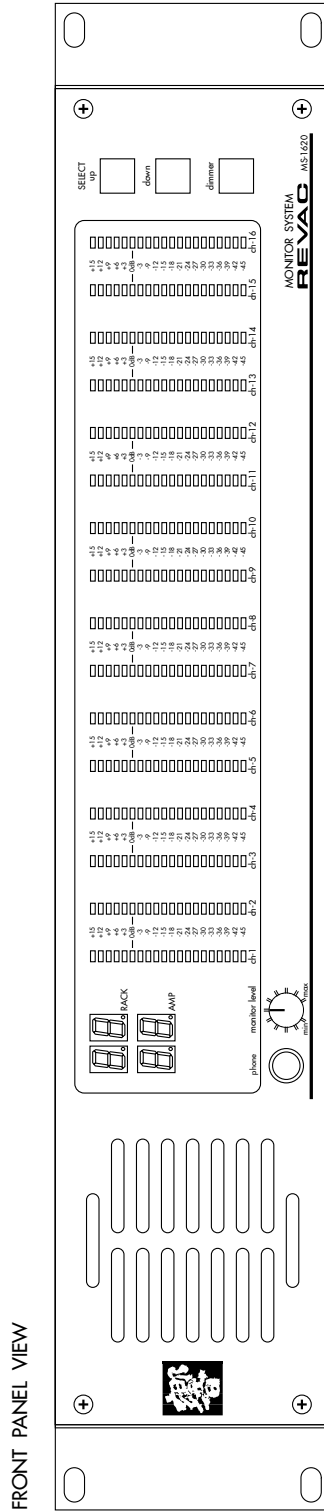
3.4 総合

電源電圧	AC100V(50/60Hz)
最大消費電力	40W 以下
外形寸法	480.0W×88.0H×320.0Dmm(EIA-2U)
重量	6.0Kg

4 外形寸法図



5 パネル外観図



6 リンクについて

本機を複数台リンクする場合 2 通りのリンク方法があります。

6.1 ステレオリンク (同時切換) モード

2 台またはそれ以上をコントロールリンクケーブルのみで接続し、切換チャンネルを同じチャンネルに同期させます。ステレオ信号などをモニターする場合に使用します。また、現在選択されたチャンネルはフロントパネル上の数字表示 ("AMP") によって確認できます。

6.2 シリアルリンク (順次切換) モード

コントロールリンクケーブル及びシグナルリンクケーブル共に接続し、1 台目の ch-1 から順番に切り替えて使用します。複数のラックにマウントされたパワーアンプの出力を順番にモニターする場合などに使用します。この場合、どのスピーカーからでも聴くことができます。さらに、1 台をコントローラとして離れた場所に設置して全てのアンプの出力モニターをすることもできます。また、現在選択されたチャンネルはフロントパネル上の数字表示 ("RACK", "AMP") によって確認できます。

これらの操作はどのフロントパネルのキーからでも操作することができます。

7 各種設定項目

フロントパネル内のディップスイッチによって設定できる項目は次の通りです。

- アンプ接続チャンネル数設定 (1 ~ 16)
- ラック ID ナンバー設定 (1 ~ 32)
- トータルラック数量設定 (1 ~ 32)

8 資料1:接続について

●コネクタピンアサイン表

SIGNAL INPUT/ch-1~8 (D-sub 25pin/ 本体側メス)

pin-No	名称	機能
1	CH-8	HOT
2	GND	----
3	CH-7	COLD
4	CH-6	HOT
5	GND	----
6	CH-5	COLD
7	CH-4	HOT
8	GND	----
9	CH-3	COLD
10	CH-2	HOT
11	GND	----
12	CH-1	COLD
13	NC	----
14	CH-8	COLD
15	CH-7	HOT
16	GND	----
17	CH-6	COLD
18	CH-5	HOT
19	GND	----
20	CH-4	COLD
21	CH-3	HOT
22	GND	----
23	CH-2	COLD
24	CH-1	HOT
25	GND	----

SIGNAL INPUT/ch-9~16 (D-sub 25pin/ 本体側メス)

pin-No	名称	機能
1	CH-16	HOT
2	GND	----
3	CH-15	COLD
4	CH-14	HOT
5	GND	----
6	CH-13	COLD
7	CH-12	HOT
8	GND	----
9	CH-11	COLD
10	CH-10	HOT
11	GND	----
12	CH-9	COLD
13	NC	----
14	CH-16	COLD
15	CH-15	HOT
16	GND	----
17	CH-14	COLD
18	CH-13	HOT
19	GND	----
20	CH-12	COLD
21	CH-11	HOT
22	GND	----
23	CH-10	COLD
24	CH-9	HOT
25	GND	----

Signal Link (D-sub 9pin/ 本体側オス)

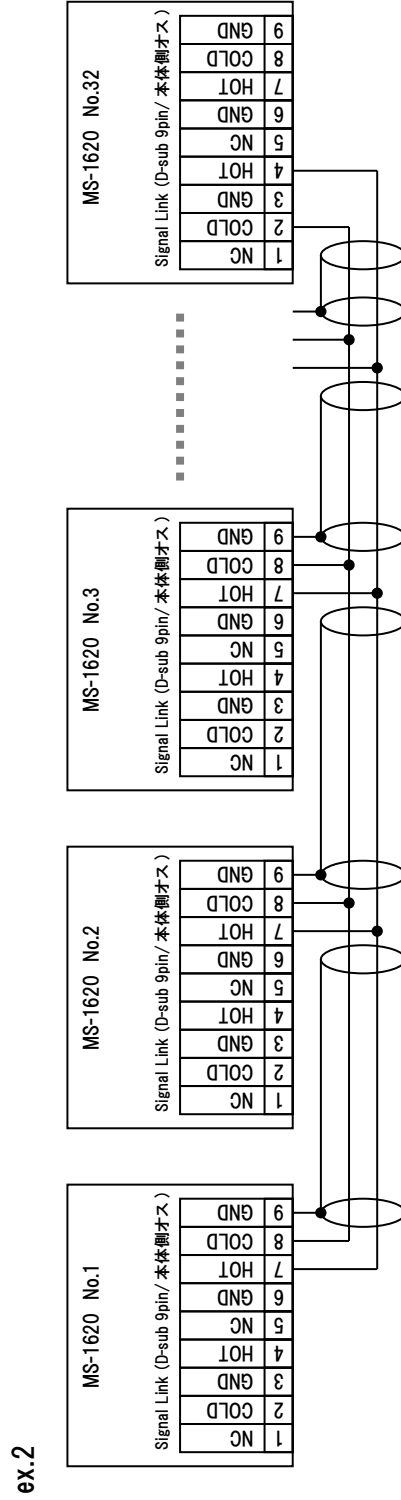
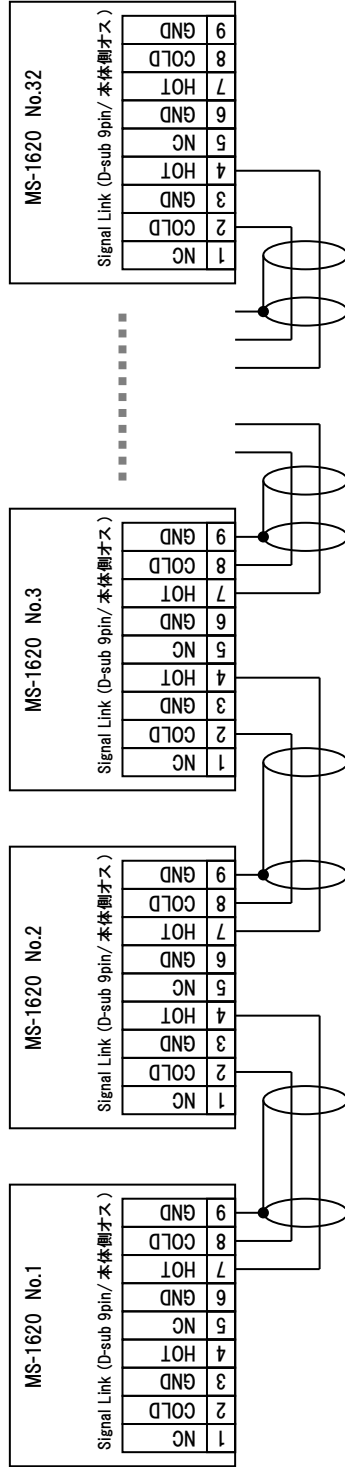
pin-No	名称	機能
1	NC	----
2	Mon-bus	COLD
3	GND	----
4	Mon-bus	HOT
5	NC	----
6	GND	----
7	Mon-bus	HOT (thru)
8	Mon-bus	COLD (thru)
9	GND	----

Control Link (D-sub 9pin/ 本体側メス)

pin-No	名称	機能
1	NC	----
2	RS-485	COLD
3	GND	----
4	RS-485	HOT
5	NC	----
6	GND	----
7	RS-485	HOT (thru)
8	RS-485	COLD (thru)
9	GND	----

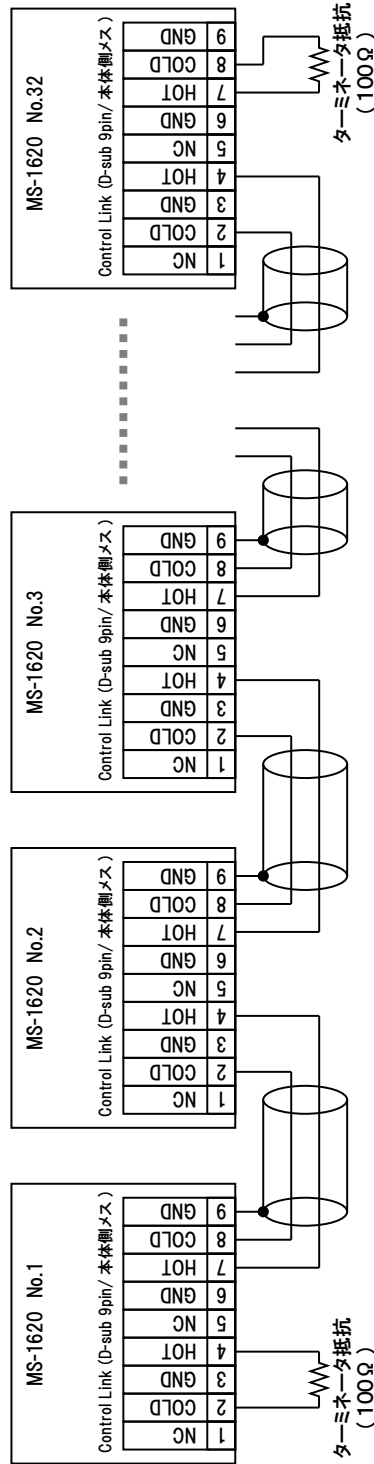
※リンクケーブルは、シグナル/コントロール共に同一機能ピン同士（又は thru ピン）を接続して下さい。3 台以上をリンクする場合は全ての機器を同一リンクバスに接続して下さい。また、リンク動作させない場合は不要です。
さらに、コントロールリンクバスの両端に位置する機器のコネクタにはRS-485用ターミネータ抵抗（100Ω）をHOT-COLD間（7番-8番ピン、又は2番-4番ピン）に装着して下さい。

●リンク接続図 (Signal Link)
 ex.1 ※リンクコネクタの同一機能ピン同士 (HOT/COLD/GND) は、それぞれ内部で接続されています。従って、接続方法は色々なバリエーションが考えられます。

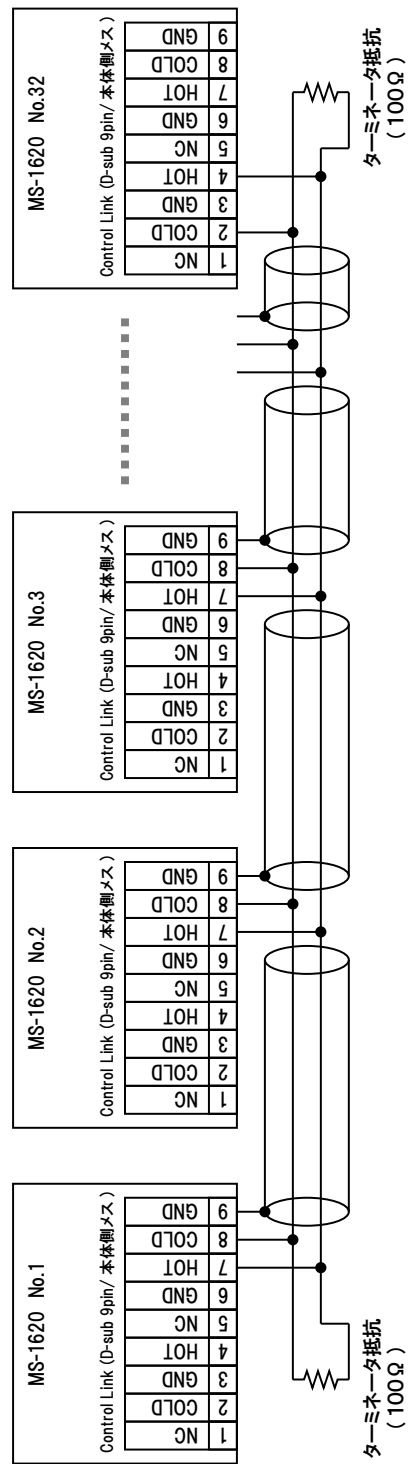


●リンク接続図 (Control Link/RS-485)
 ※リンクコネクタの同一機能ピン同士 (HOT/COLD/GND) は、それぞれ内部で接続されています。
 従って、接続方法は色々なバリエーションが考えられます。

ex.1



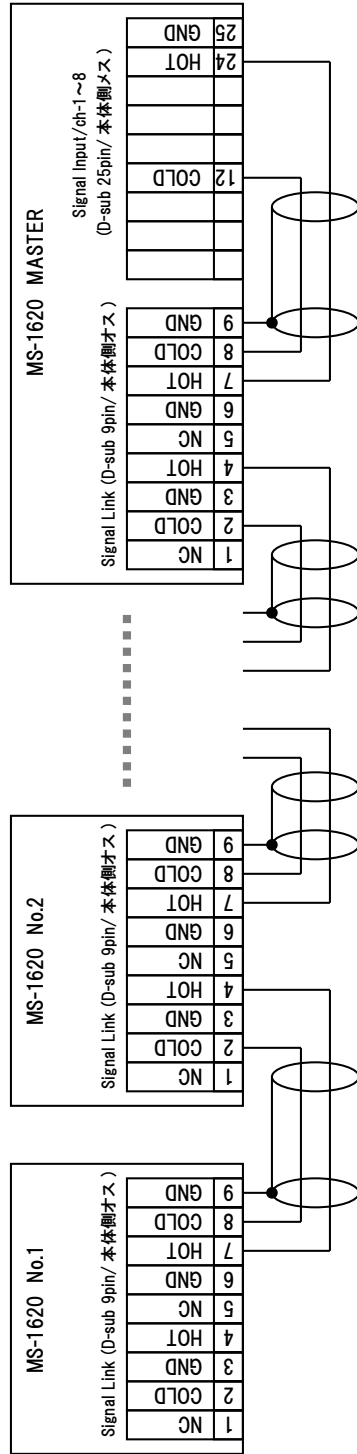
ex.2



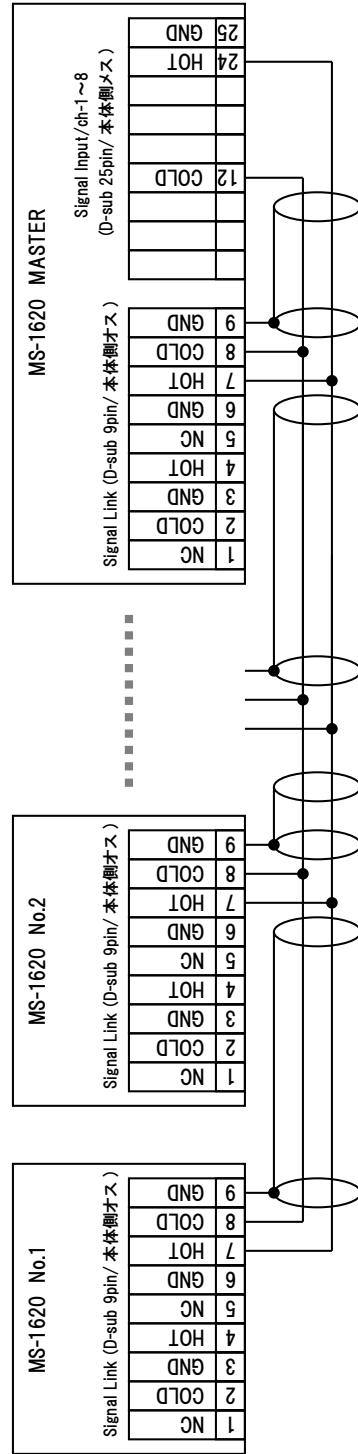
● MS-1620 リンク接続においてマスター機として使用する場合の接続について

マスター機として接続する場合は、基本的に ch-1 の信号入力端子にも“Signal Link”信号を接続して下さい。
 この場合、マスター機では選択された信号をスピーカと“ch-1”のLEDメータによるモニターとなります。

ex.1



ex.2



9 資料2:パネル内設定について

